交通安全は●●●●●自らの責任で！

町老人クラブ交通安全推進員の委嘱式が、7月15日改善センターで開催され、町老人クラブの会長さん方10名に宮之城警察署長より委嘱状と白い帽子が手渡されました。

町老人クラブ交通安全推進員は、町老人クラブ会員の交通安全意識の向上を図り、一人でも悲惨な交通事故に遭わないように、高齢者に対し交通事故に関する注意を呼びかけることなどを目的としています。

宮之城警察署によると、平成13年に管内で発生した245件の交通事故のうち88件（約36％）に高齢者が関係し、1名は死亡されています。

最後に町老人クラブ会長の平三義さんが「交通事故が年々増加する中、『交通安全は自らの責任』という原点に立ち、交通ルールとマナーを守り会員が先頭に立って、地域の交通事故防止に努め町内から交通事故を出さないようにしたい」と宣誓文を読み上げ、事故防止に努めることを誓いました。

▶委嘱状を受け取る町老人クラブ交通安全推進員

葉たばこの収穫最盛期

本町の主要な作物の一つである葉たばこは、2月に種が蒔かれ6月から7月にかけて収穫が最盛期を迎えました。

北方町の共同乾燥施設でも、職員一丸となって一生懸命仕事に取り組んでいました。

町内では昨年の葉たばこの売上高が1億5千万円で、また今年は10アール当たり226キロ、55万9千円の収益を目標に27世帯2，546アールで生産されています。

経済課では「不順な天候の割には、昨年並みの品質」と予想しています。

◀共同乾燥施設内の様子

るかもしれませんがぼくはこういうふうに考えています。それは「願望×計画×努力＝夢の実現」です。毎日少しずつの積み重ねが、夢に一歩一歩近づいていくことだと思います。

「新幹線車両の設計士」というゴールまでの道のりは果てしなく遠いかもしれないです。でも、ぼくはあきらめません。一歩というとても遅いペースでも、その一歩を大切にして、必ずゴールにたどり着きます。そして夢を叶えます。

西郷菊次郎の功績を偲んで

第４回地域セミナー「さなぼり会」開催

６月29日、永野校区公民館で地域セミナー「さなぼり会」が開催されました。

みんなが、郷土を大切にする心を持ってほしいと始まった「さなぼり会」も今回が４回目。今回は、金山鉱業館長として永野に縁の深い西郷菊次郎の孫の、西郷隆文さんを講師に招き、菊次郎の生い立ちや台湾の総督府に赴任していた頃の話しを聴きました。

西郷菊次郎は、台湾で多額な費用を投じて堤防の改修工事をおこないました。これにより日本と台湾の関係はより良好なものになったと伝えられています。

西郷隆文さんは、「薩摩の人は気持ちがやさしい。日本人の考えを押し付けることなく長い時間をかけて島民（台湾）の心に溶け込んでいった。そういうところが菊次郎の偉いところだと思います。」と話されました。

また当日は地域婦人会の方々などにより、さなぼりの伝統的料理も再現されました。

◀西郷菊次郎の遺徳に聴き入る参加者たち

お世話になりました

○**退職**（　）は前職

6月30日付

（収入役室主査）

大野　麗子

○**契約期間満了**（　）は前職

7月16日付

（学校教育課外国語指導助手）

セデル・ナイルス

※アメリカ合衆国に帰国